

本を選ぶ

NO.352 2014年(平成26年)9月20日

●発行/ライブラリー・アド・サービス

<http://www.las2005.com>

本社 〒335-0004 埼玉県蕨市中央5-20-1 TEL:048-432-3726

●<ろん・ぼわん>図書館の特色は実習に

●紙魚の緑り言 第5回

●図書館を離れて(第19回)

●鳥の目 41



図書館の特色は実習に

少し前の話になりますが、京都の大学から、夏休みを利用して図書館実習生が職場に来ました。国立女性教育会館は宿泊施設があり、比較的低料金で宿泊できるため、実習生の指導をお願いされることがあります。今年はお盆の時期に1週間、宿泊しながら、女性教育情報センターで図書館業務を体験してもらいました。

図書館実習は、司書課程で勉強してきたことがそのまま現場に当てはまるわけではないため、各々の図書館の特色を活かした業務を体験してもらうこととなります。その図書館が設置されている目的は何なのか、ターゲットとなるユーザーはどのような人たちなのか、今後はどういったサービスを提供していきたいと考えているか、等々、取り巻く環境は図書館ごとに多種多様であり、図書館員も臨機応変な対応を求められます。

今年の実習生のNさんには、図書館の基本的な業務であるサービス業務と目録業務の他に、女性教育情報センター独自の業務であるデータベース作成や新聞クリッピングも体験してもらいました。専門図書館である当センターは、男女共同参画及び女性・家庭・家族という特化した分野に関して幅広く資料や情報を収集・提供するという特色があります。資料の多様性を知ってもらうと同時に、それぞれの資料ごとにきめ細かな対応が必要であることを体験し

てもらいました。

国立女性教育会館は埼玉県の武蔵嵐山という場所にあり、緑豊かではありますが周囲に歩いて行ける娯楽施設はあまりないため、遠方の実習生は1週間朝から晩までカンヅメになって図書館実習をすることになります。自分が大学生だった時を思うと、よく頑張るなと思います。しかし一方で、課内のスタッフが各自の業務の時間を割いて実習生の対応に当たることを考えると、相応の自覚と意欲を持って来てもらわないと、とも思います。

今年いらしたNさんは、女性情報とは何だろう、という探求心や好奇心が素直に伝わってくる学生さんだったため、スタッフも気持ちよく教えることができました。短い期間ではありましたが、当館での実習を今後活かしていただきたいと思います。

ところで、私が何回か読み返している本に、井上靖の「北の海」があります。自伝的な長編小説で、主人公の少年から青年にさしかかる時期が描かれています。10代で読んだ時は、主人公の気持ちを追っていたのですが、社会人になってから読むと、主人公を取り巻く先生の方に気持ちが寄りました。世間の常識にあまりとらわれずのんびりとしている主人公を、卒業生なのに面倒をみることになり、心配したり怒ったりする先生です。

先日、久しぶりに読み返したのですが、折しも図書館実習中だったため、Nさんの優秀さが改めて際立ったのと同時に、主人公のような実習生が来たら困ってしまうなあ、としみじみと思いました。(匂坂佳代子：国立女性教育会館)